

くしまにあ

このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

健康の秘訣



●リナママさん
広報くしま4月号APRIL 2016が届きました。健康マメちしき。健康のために取り組むことは？

毎日イケメンのネコちゃん散歩すること、減塩を心掛け、野菜をたくさん食べるように努力しているつもりです。ラジオを聴きながら本を読んだり、はがきでお便りを書くのも癒しになっていて、二人で大笑いします。人生を楽しんでいます。

「人生を楽しんでいます」という一文に健康の秘訣が凝縮されているのではないかと感じました。自分も見習おうと思います。

机やイスを作りました

●千種保育園

先月、建設業組合の若手メンバーの皆さんからの申し入れがあり、年長児17名で保育所で使う机やイスをメンバーの皆さんの指導の下、一緒に作りをしました。

道具に慣れない子どもたちは四苦八苦していました。お兄さんたちの丁寧な指導で立派なものが出来上がりました。子どもたちもとても喜んでいました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。



写真を見ましたがとても本格的なイスですね。木材の木目が一つひとつ違うので、同じようで違うのが魅力になっていると思います。手作りということと園児の皆さんも愛着が湧くと思うので、長く使われていってほしいですね。

話し相手ボランティア

●湯出田誠さん

話し相手ボランティアでひとり暮らしの相手をしていきます。毎月1回から2回、1時間ほどです。現在93歳と87歳の老人が相手です。93歳の人は認知症には程遠く、一カ月前の訪問時のことを覚えていきます。さらに物知りです。『繩

切れの余りと女の余りはない」と言われました。どんな長さの縄でも用途があるように、女性にも適度な配偶者がいるとの意味で、大隅町のことわざとありました。話しを聞いてやるのではない、教えてもらうの思いで訪問しています。串間に伝わる古い話をまとめようと思います。

ボランティア訪問に向けた思い。素晴らしいですね。大隅町のことわざは初めて聞きました。今だとちよつと際どい表現になりそうですが、とても興味深かったです。串間に伝わる話も気になります。

夫なしでも後家さんいきいき

●百野達夫さん

人生で大切なものはいろいろあるが、何といたっても健康や命であろう。『人生で大切なものを3つ挙げてください』という高齢者を対象にしたアンケート調査があった。男性の1位は

『妻』で、2位3位はバラバラだった。これに対し女性は、1位『子ども』、2位『友達』、3位『お金』だった。3位内に『夫』は入らなかった。男性軽視？無情の感あり。加齢によって奥さんの気持ちも変化したのだろう。

男は不器用で融通が利かず、自立心に欠けている。だから奥さんが何よりの頼り。奥さんに死なれた男性は、苦勞も多く老いが早まり先が短い。それに対して女は、夫に先立たれても一時の悲しみからやがて立ち直り、愛嬌を振り撒き環境や境遇に順応していく。強く逞しく生きていて、したたかなのだ。

『おとこ鰥夫になりたくないよ』
『あわよくば妻より一足先に逝きたい...』

哀愁漂う投稿ありがとつございます。男性側は『妻』を1位に挙げている事が、無感情を押し上げている原因の一つになっていきますね。結局『夫』は何位だったのが気になるりました。

みんなの広場

春の叙勲(4名)

旭日双光章(地方自治功労)



もり みつあき
森 光昭さん

受章者のコメント

「One for all, all for one」の精神でいくつもの荒波をくぐり抜けてきました。対立しても最後はノーサイドでやってきたのが続けられた理由だと思います。受章できたのも市民の協力があり、内助の功があったからこそと感謝し、これからも市民に対する協力は惜しまない覚悟であります。

昭和34年から31年間、串間市に奉職して市の発展に貢献。平成7年から市議を連続4期16年、平成15年から4年間議長を務めた。平成24～26年に副市長。

瑞宝双光章(地方自治功労)



まつもと まつふみ
松本 松文さん

受章者のコメント

山下元市長や職員の皆さんの協力があったから受章できました。みんなの代表として受けたいと思います。そしてここまで来られたのも健康管理してくれた妻のおかげと感謝し、これからも残された人生をこの章に恥じないよう生きていきたいです。

昭和33年から平成5年まで串間市職員として総務課長などの要職を歴任。同年から平成12年まで助役を務め、経済振興、観光開発整備構想などを推進した。

瑞宝双光章(郵政事業功労)



たなか よしひろ
田中 由博さん

受章者のコメント

宮崎南部特定郵便局長会をはじめ職員の皆さん、地域の皆さん、そして家族の支えもあり受章できました。私の家系は代々都井地区の郵便局長をしてきたこともあり、私で4代目でした。元々郵便局長というのは地域に根差した活動をしているということもあるので、これからも地域と共に歩んでいこうと思います。

昭和43年、東京の晴海郵便局に入局。渋谷郵便局、関東郵政監察局を経て同54年から都井郵便局長。他に特定郵便局長会宮崎南部地区会会長、宮崎南部特推連会長も務めた。

旭日単光章(水産業振興功労)



こんどう まもる
近藤 守さん

受章者のコメント

漁連からの推薦や系統団体からの協力、普段の生活で家族の協力もあり受章できました。知らせを聞いたときは実感が湧かなかったのですが、皇居で天皇陛下に拝謁して事の重大さに気づきました。そろそろ引退かと思っておりましたが、もうひと頑張りしようと思います。

平成5年に串間市東漁協理事、平成19年には代表理事組合長に就任。組合員の生活向上と組合の経営基盤改善に大きく貢献した。県漁協連合会代表幹事などにも就任。

受章おめでとうございませす

平成28年春の叙勲等において、串間市から5名の方が受章されました。

第26回危険業務従事者叙勲(1名)

瑞宝単光章(防衛功労)



ほりぐち こうはる
堀口 晃春さん

受章者のコメント

35年という長きにわたって、勤務ができたというのは、これまで携わってきた関係者や上司、同僚などいろいろな人とのつながりのもとに多くの協力があったからこそ。感謝いたします。この章に恥じないようこれからも精進していきます。

昭和48年に航空自衛隊に入隊以来、35年の長きにわたり、土木施設業務に従事し、国民安全と国土防衛に尽力した。



都城盆地剣道大会で優勝しました

4月に「第10回都城盆地剣道大会」が開催され、串間市から6チームが参加しました。一般男子の部において串間支部Aが見事優勝し、他にも3チームがベスト8という成績を収めました。

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができません。あらかじめご了承ください)。

- ①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③コメントを必ず添えてください。

●Eメールアドレス
info@city.kushima.lg.jp



伝言メッセージ例

じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

お便りお待ちしています。